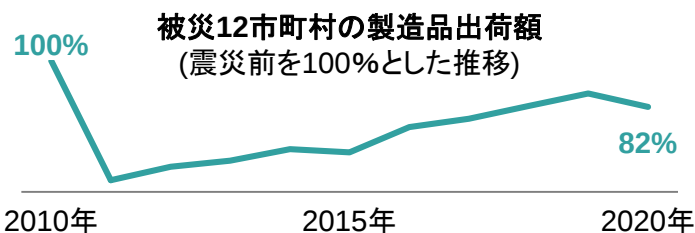


人材育成・確保ビジョン 概要版

背景

【産業】

相双地域では、震災前に比べて域内GDPや製造業の出荷額が伸び悩んでおり、失われた産業の回復や新たな産業の創出が求められている



出所: 工業統計、経済センサス

福島イノベーション・コースト構想等に基づき、相双地域ではロボット・航空宇宙等の次世代産業集積に取り組んでおり、さらなる成長を目指している

【環境】

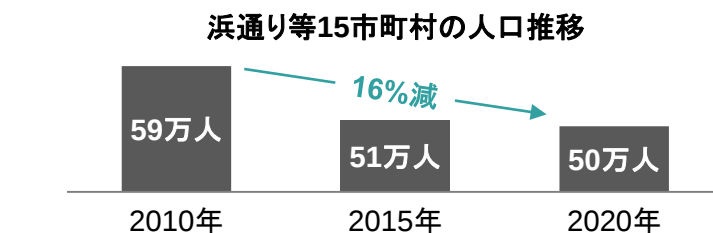
現在の相双地域は、ロボットテストフィールドやF-REI等の研究・実証環境が充実し始めており、次世代産業※を育むポテンシャルを秘めつつある



次世代産業※の成長を加速させるには、企業・教育機関・支援機関が連携して地域一体かつ中長期的な人材育成に取り組む必要がある

【人材】

避難指示に伴う人口流出に加えて、若年層の都市部流出等により、企業における人材不足深刻化や高齢化による技術継承課題が顕在化している



出所: 国勢調査

各企業で人材育成や確保に取り組むものの、最新技術への対応も含めて単独での対応には限界があり、人材育成や人材確保の指針が求められる

企業・教育機関・支援機関が、地域一体かつ中長期的に取り組む指針として「人材育成・確保ビジョン」を策定し、地域内のものづくり人材の強化と、地域外からの人材呼び込みに資する環境整備に繋げることで、地域の競争力を強化する

【人材育成・確保ビジョン策定の目的】

人材育成・確保ビジョン

【地域の目指す姿】

南相馬市を中心とした相双地域では、震災復興に向けた経済成長や雇用創出施策として、地域の強みが活かされると共に将来的な発展が見込まれる次世代産業(ロボット・航空宇宙等)をより一層強化する

【相双地域における次世代産業の在り方】

過去の災害経験や豊富な実証フィールドといった地域の特徴と、これまでのモノづくり技術を活かして、特に災害現場・水中・宇宙空間といった予測困難な現場における問題解決力や価値創造力で勝負する

【求める人材像】

常に問題意識を持って改善を提案し
実践を通じて地域と共に成長する人材

【マインド】

- 常に**問題意識**を持って物事に取り組む
- 主体的に解決策やアイデアを**提案**する
- 提案するだけでなく自らが**実践**する
- 結果から学び、**改善**を繰り返せる
- 復興の絆を活かして地域と**連携**する

問題解決の
推進役

論理的かつ技術横断的な
解決策を構想できる人材

【スキル】

- データから正しく事実を把握する**分析力**
- 事実から問題の真因を見抜く**論理的思考力**
- 多様な技術に対する**横断的知識**
- 効果的な解決策や新たな価値を
発想・具体化できる**構想力**

人材育成の手法例

常に問題意識を持って改善を提案し
自ら実践と改善を繰り返せる人材

【求める人材像】

問題解決の
推進役

論理的かつ技術横断的な
解決策を構想できる人材

【マインド醸成の手法例】

主体性の向上 課題解決型学習(PBL)の導入

- ・ 社内外の技術課題を若手社員や学生に提示し、チームで解決策を考えさせ、成果発表会などで先輩社員からフィードバックをもらうことで、主体的に問題解決に取り組む姿勢を向上

改善意識の向上 完成品を基にしたバックキャスト教育

- ・ 完成品のイメージがないまま1つずつ組み立てるのではなく、最初から完成品を提供して、その設計を理解した上で改善していく教育プログラム

評価制度の工夫 成長を促進させる環境作り

- ・ 失敗を減点評価するよりも、その後の改善・成長も評価することで試行錯誤を促進
- ・ 自社に必要なスキルマップを定義して、スキルマップの達成度を参考に評価を行う

【育成環境の整備例】

【スキル向上の手法例】

スキル見える化 スキルマップ作成による見える化

- ・ 製造行程ごとに必要なスキルを明文化し、それぞれの習熟度を自己評価できるようにして不足しているスキルを見える化

新たなスキル獲得 様々な行程・技術分野の実務経験

- ・ ジョブローテーションで様々な行程や技術の経験を積む
- ・ 展示会で技術者に声かけ～技術説明～商談まで担ってもらうことで、擬似的に様々な業務の実務経験を習得させる

環境作り スキル獲得の環境作り

- ・ 地域内でのノウハウ・育成設備の共有、相互学習・合同研修
- ・ すぐに試作品製造ができる環境作り
- ・ 学生/企業在職者の探究促進のためのツールキット・企業メンターの確保